

令和8年2月16日（月）配布

マンホールトイレを使用する際の準備等について

1 はじめに

マンホールトイレは、災害時、水と電気が止まっても、使用できるトイレです。使用にあたっては、少々準備が必要です。その方法を以下にお示しします。

2 マンホールトイレの主な運用方法

- (1) 使用前にプールの水をパイプに入れる。
- (2) トイレを設置する
- (3) トイレが使用され、排泄物がたまる。
- (4) 一定量たまったところで、プールの水を使って排泄物を流す

3 行い方

- (1) 使用前にプールの水をパイプに入れる。



①プールの水をパイプに入れるためのポンプを準備します。(ホースとポンプを接合)



②ホースは、外れないようにレバーで固定します。



③本説明時には、バケツをプールの水に見立てて行いました。



④実際は、プールの水をパイプ迄運ぶために、これだけの量のホースをつなぎます。



⑤ポンプの排出口にもホースをこのようにつなぎます。



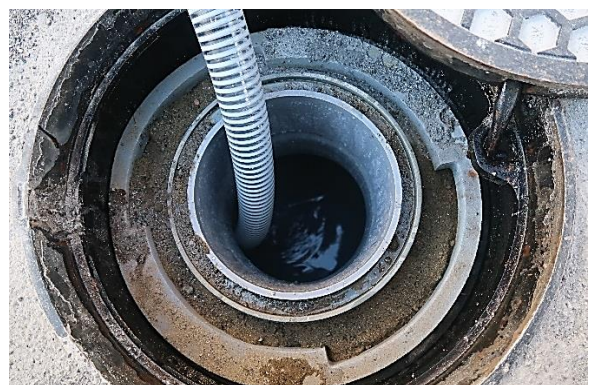
⑥水を入れるためのマンホールに排水されるホースを入れます。



⑦一番奥のマンホールになります。



⑧ポンプのレバーを上下に動かし、水をパイプに送り込みます。



⑨送り込む水の量はパイプの半分ほど。目分量で測ります。

(2) トイレを設置する



⑩レバーを使ってマンホールを外します。
○の個所に強めにレバーを押し込みます。



⑪てこの原理を使って、マンホールを押し
上げます。



⑫マンホールが空いたらそのまま
引っ張り、90度回転させます



⑬このように 90度回します。



⑭最後にねじってふたを外します。パイプに
ついているふたも外します。

※この後に、トイレを設置する作業が入ります。

この説明時には、トイレはまだ届いていなかったため、説明画像はありません。

(3) トイレが使用され、排泄物がたまる。

トイレが設置された後、使用状況によって、排泄物がたまっていきます。パイプの入り口まで排泄物がたまったところで、排泄物を流す必要があります。

(4) 一定量たまったところで、プールの水を使って排泄物を流す



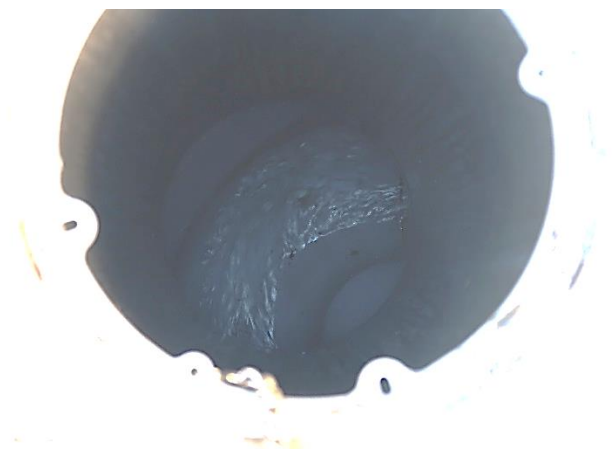
⑮棒と固定バーを使用し、堰の操作をします。



⑯堰は重さで自動で閉じます。排泄物が流れている間、堰を開けておく必要があります。



⑰このように固定を保ち、排泄物が流れている間、堰を開けたままとします。



⑱流れている状況を確認する穴から、排泄物の排水状況を確認します。

※以上がマンホールトイレを使用する際の準備等について となります。

※ 道具の収納場所は、プールの奥の倉庫です。



※このような状況で収納されています。

